

## Nutrition issues in Codex: health claims, nutrient reference values and WTO agreements: a conference report

Peter J. Aggett • John Hathcock • David Jukes • David P. Richardson •  
Philip C. Calder • Heike Bischoff-Ferrari • Theresa Nicklas • Stefan Mu"hlebach •  
Oran Kwon • Janine Lewis • Maurits J. F. Lugard • Peter Prock

Eur J Nutr (2012) 51 (Suppl 1):S1–S7  
DOI 10.1007/s00394-012-0306-8

### Codexにおける栄養に関する問題：ヘルスクレーム、栄養成分基準値、WTO合意：会議報告

**要旨：** Codexの背景文書は、加盟国のための教育的資料およびコンセンサスを得るための資料として使用される。また、WTO SPS合意は、Codexを食品問題に関する国際的かつ推定的な権威として認めている。栄養成分の生物学的利用能は、有益的效果をもたらす栄養成分の能力を決定する上で重大な要素である。また、生物学的利用能は、栄養摂取推奨分量およびNRVの基本となる栄養必要量にも影響を与える。Codexのヘルスクレーム、EFSA（欧州食品安全機関）、および一部の国の規制機関では、幾つかのタイプのヘルスクレームの使用を許可するガイドラインや規則を定めている。米国FDAやEFSAはクレームに関する科学的根拠を確立しているが、Codexではまだ確立をしていない。証拠ベースの栄養は証拠ベースの医薬品とは取り扱いにおいて異なるが、その相違は最近になって認知されるようになってきた。食品に関するヘルスクレームは、消費者に有益な情報を提供するが、その情報により多くの消費者は食品や栄養成分によって疾病リスクを排除できると理解する。栄養成分基準値NRVは、食品に含有される栄養を比較するための量的根拠を提示することを目的としており、特定の食品がいかに食事に適しているかを証明する際に役立っている。INL-98および成人男女の数値の平均値がNRVのために提供されており、このNRVは大半の成人の個人摂取目標として使用するには十分な基準である。世界貿易機関のWTO合意では、Codexを食品問題に関する主要な国際的権威として認めている。現行の規制スキームは推奨の栄養所要量に基づいており、その内容は貿易活動に制限を加えるというものである。EFSAが採択した多くの決定事項は、WTO合意の違反となる可能性がある。

**キーワード：** Codex（国際食品規格）、生物学的利用能、ヘルスクレーム、栄養成分基準値、世界貿易機関、WTO合意